

平成30年度 予算 原案可決



平成30年度予算特別委員会が2月22日・3月14日・15日に開催され、一般会計、4特別会計、2公営企業会計について慎重に審議を行い、3月20日の本会議において、多数の賛成をもって原案のとおり可決されました。

一般会計	238億 3,059万円	前年度比増減額 5億 1,379万円	増額
4特別会計	133億 3,963万円	17億 6,447万円	減額
国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険事業特別会計、住宅新築資金等貸付事業特別会計			
2企業会計	48億 1,380万円	2億 7,466万円	増額
水道事業会計、下水道事業会計			

こんな質疑がありました

- Q 「市長と語る会」の内容について
- A まだ具体的に決定していませんが、44自治会で会場を借り上げる想定で予算を計上しています。
- Q 公共施設整備基金積立金の計画的な積立について
- A 当初予算では、積立金の利息と公共施設の賃借料を計上していますが、実際は、決算後の余剰金を優先的に当該基金に積み立てています。計画的な積立に努力してまいります。
- Q コミュニティバスに関して、バス停の増設とダイヤ見直しについて
- A バス停の増設か所については、地域の要望を踏まえて現在検討中です。ダイヤの見直しについては、運行状況等の確認作業を進めており、年度末もしくは来年度中に改正できればと考えています。
- Q マイナンバーカードの交付状況と普及促進について
- A 交付枚数 6,405 枚、交付率 8.92%です。(H30年3月5日現在) 普及促進については、担当課だけではなく、関係各課と連携して取り組むための協議を行っているところです。
- Q 敬老会関係費に関して、敬老祝金の見直しについて
- A 今後、敬老祝金の対象年齢や敬老会のあり方について検討する必要があると思いますが、平成30年度は例年通りの予算を計上しています。



Q 放課後デイサービスに関して、サービスの質を確保する取組みについて

A 市内の事業所・関係機関が集まってネットワーク協議会を設置し、事業所間の連携を進め、サービスの向上を図っています。

Q 平成30年度の待機児童の予想人数について

A まだ正式な数字は出ていませんが、100名程度になる見込みです。

Q 新設される保育園の増加定員について

A 水城青稜保育園が60人、すずらん保育園（小規模保育園）が18人となっています。

Q 健康づくり推進費に関して、元気づくりポイント事業の対象としたことで健康診査やがん検診の受診者数増加に効果はあったか

A 右肩上がりの増加傾向は見られますが、飛躍的に数字が伸びている状況ではありません。



Q 元気づくりポイントの交換状況について

A 2,600名～2,700名ぐらいになる見込みです。

Q 死亡犬猫等処理等委託料に関して、事業内容と殺処分数について

A 死亡犬猫の処理委託業務です。過年度の殺処分数は、市で収集した件数342件、市民からの依頼で収集した件数24件で、合計366件です。

Q 水城駅・口無線道路改良事業における移転補償費3億5,000万円について

A 道路拡幅に支障となる、保育園等の建物移転補償費です。

Q 保育園の移転補償費の財源について

A 事業費の55%が国庫補助で、残りの90%に市債をあて、10%が一般財源となります。

Q 道路事業に伴い移転する保育園の定員について

A 保育園は、現在128名の定員を、移転後は138名にする計画を持っていると伺っています。

Q 公園施設の長寿命化修繕計画策定について

A 平成33年以降の公園施設の長寿命化修繕計画を策定するため、国庫補助金を利用した計画策定委託料として、1,800万円を計上しています。

Q 災害情報発信システムの登録状況について

A 山つきの住宅地にお住まいの方は登録が多いのですが、土砂災害の危険性がない地区については、なかなか登録数が伸びていない状況です。

Q 小学校及び中学校の学校教育施設の改修計画について

A 学校教育施設の改修は、学校施設整備計画に沿って実施しますが、平成31・32年度分については、現在のところ内部調整中です。

Q 中学校ランチサービスの改善点について

A 就学援助の対象になるということ、献立検討委員会をつくって生徒や先生の声の反映を促すこと、そして、現行の1週間単位の注文を希望日で注文できる体制づくりを予定しています。

Q 客館跡等、史跡地の見せ方の工夫について

A バーチャルリアリティ*の技術を活用して、現地で実物を体感してもらう取組みを政庁跡で行っていますが、今後は客館跡、朱雀大路について、バーチャルリアリティの技術を活用する作業にかかりたいと考えています。



※バーチャルリアリティ(virtual reality)
仮想現実。人工現実感。コンピュータを用いて人工的な環境を作り出し、あたかもそこにいるかのように感じさせること。

議案第23号 平成30年度太宰府市一般会計予算

水城駅・口無線道路改良事業に伴う修正動議 補償費等(3億3,120万円)を除く

賛成少数で
否決
賛成6 反対11

道路橋梁新設改良事業費を減額する修正案が提出されましたが、採決の結果、賛成少数で否決されました。

案件名	議決結果	公明党		宰光					市民ネット		新政会			共産党		無党派	
		小島真由美	堺剛	宮原伸一	原田久美子	陶山良尚	入江寿	船越隆之	柳原莊一郎	徳永洋介	村山弘行	長谷川公成	橋本健	上疆	木村彰人	神武綾	藤井雅之
議案第23号「平成30年度太宰府市一般会計予算について」に対する修正案	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○

※門田直樹委員長は予算特別委員会における過半数議決では表決権を有しません。

※以下の会派名について、一部省略して記載しています。

公明党 公明党太宰府市議団
市民ネット 太宰府市民ネット
無党派 会派に所属していない議員

新政会 太宰府新政会
共産党 共産党太宰府市議団

●提案理由(要旨)

当該予算は、特に保育園の建物移転に伴う補償費が大きな額となっておりますが、議会に対して十分な報告・説明がなされておらず、予算特別委員会での質疑応答だけでは、審査をし尽くしたとは言えない状況です。ちなみに、この保育園の移転補償費は、道路計画線が保育園建物に50センチ程度かかることから、建物全部を移転・再築するための費用です。

しかしながら、道路計画線を建物本体にかからないように設定する場合でも、附帯工作物及び立木等を撤去することで、計画歩道幅2.5mに対して2.0m程度の歩道幅を確保することも十分可能であり、事業目的を概ね達成できることも考えられます。よって、保育園の移転によらない道路計画の検討も含めて、改めて十分な報告・説明を受けた上で審議を行い、最終結論を出すべきであると考えます。 発議者：木村委員

●発議者に対する質疑(要旨)

質問：いろいろな事業について、議会に対して説明をした方がいいが、しなければならないと言うことにはならないと思う。議会に対して十分な報告・説明がないと、執行部はいろいろな事業はしてはいけないのか？

答弁：重要な案件については、しっかり議会に対して説明をする必要があると考えます。

質問：当事者や地域の方たちがある程度納得したものを、議会がひっくり返すことによる混乱についてはどう考えるか？

答弁：全市民的、全市民的に問題があるものについてはしっかり検討しなければならないし、予算の執行をストップすることもあり得ると思います。

質問：国庫補助をもらって進めている事業であり、事業を進める上での混乱が、国と本市の関係に何らかの悪影響が及ぶことになるのではないのか？

答弁：継続的な補助事業であっても、市として補助事業の基準に合っているか確認しながら進めていく必要があります。

質問：当該補助事業は平成31年度までの期限があり、それを過ぎてしまうと全額市が負担することになるのでは？

答弁：再検証の結果、歩道幅が50センチ狭くなくても道路管理上許容できるとなった場合は、移転補償費を使わなくなるわけですから、まずはそこをしっかりと検討したいということです。

●修正案に対する討論(要旨) 発言順

反対：村山委員 平成20年から継続する事業であり、今まさに保育園の移転で完成しようとしている。国の補助金も平成31年で終わる中、執行部もいろいろ検討した結果であると考え、修正案に反対する。

賛成：長谷川委員 執行部から資料を提出いただき説明してほしかった。また、移転補償費も大きいため、移転再築される保育園についてももっと定員増を検討して欲しかった。よって、きっちりとした説明・報告を受けた上で審議したいと考え、修正案に賛成する。

反対：徳永委員 30年後、50年後のことを考えて、より安全な歩道・道路を造らなければならない。目先ではなく、今の保育園の状況とか将来のことを考え、修正案に反対する。

賛成：藤井委員 事業の必要性は理解するが、口頭による説明を聞くのではなく、資料に基づいて検証する必要があるのではないかと考え、修正案に賛成する。

反対：小島委員 今回は行政側にも反省をしていただきたいと思っている。やはり大きな事業であり、市単独の事業ではないことの影響を考え、修正案に反対する。

賛成：上委員 執行部は、もっと早い段階で事業内容を議会に説明するべきであり、今後も同様なことがあってはならないと考え、修正案に賛成する。

賛成：笠利委員 道路事業については把握していたが、保育園が丸ごと移転することまでは聞いていなかった。大きな予算を伴うものについては、十分内容を知ったうえで判断の方がよいと考え、修正案に賛成する。

反対：原田委員 保育園が御笠川の真横にあることから防災上の心配もあり、また55%の国費も出るのであれば移転してもよいのではないかと考え、修正案に反対する。

反対：陶山委員 大きな事業費を伴う事業であり、執行部は説明責任をしっかりと果たしていただき、事前に協議ができれば一番よかったと考える。しかしながら、当該道路事業の重要性を考え、修正案に反対する。